

福祉のかけ橋

平成13年1月 第23号

2001年 新春のおよろこびを申し上げます



保育所子供たちにみかんをプレゼント

福祉をとりまく情勢

南山見地区社会福祉協議会

常務理事 箭原 健二郎

明けましておめでとうございます。

皆様方にはご家族お揃いで二十一世紀の初春をお迎えになりましたこと、心よりお慶び申し上げます。

新しい時代への対応を迎え、最近政治や経済、産業面等ではいろいろと国の構造改革が進められておりますが、福祉の分野でも改革の波が押し寄せております。

それは、少子高齢化社会の到来と国の財政面等から、介護保険制度の導入に当たって、民間企業にも福祉事業への参入を図らざるを得なくなり、今後行政の福祉施設と民間企業が市場で競争する時代になったのです。

その結果、行政の福祉施設の経営を民間並の経営に改めなければならなくなつて来ております。

また、「年金」や「医療保険制度」等についても種々議論されているとおり大きな問題点をかかえています。これらの改革は「利用者から広く薄く応分の負担を求めながら、より充実した福祉を実現して行こう」という考え方が基本になっていいるものと思われまますが、皆さんと一緒に、より良い福祉、より良い社会をめざして努力して参りたいと考えておりますので、ご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

第二回 八乙女福祉カレッジ

郷土史・健康講座

八月二十四日高齢者教室と合同で行いましたところ、これまで最高の百三名の出席がありました。



一 講師 倅如上人と瑞泉寺

二 保健学習、高齢者の健康保持

一 「倅如上人と瑞泉寺」と題して浄教寺住職・県立平高等学校校長高瀬顯正先生のお話を拝聴しました。

先生は、宗祖親鸞聖人が亡くなられてから八代蓮如上人に至るまでの本願寺の歴史を細かくご説明になり、特に蓮如上人が、衰退していた真宗の教えを広め、飛躍的に再興されたご苦労の様子や、五代倅如上人が井波の地に瑞泉寺を建立し、北陸における真宗発展の礎を築かれ、それが蓮如上人が吉崎から二度も瑞泉寺へ下向されて、加賀・越中など北陸教化につながっていることなど、大変分かりやすく説明して下さい、瑞泉寺直下に住んでいる私達はどのように生きていくべきか、お教え頂きました。

二 町保健センターの中島誠子保健婦さんから「いきいきと過ごすために」と題して夏場における健康管理について、たばこを吸わない・酒を飲みすぎない・十分な睡眠をとるなど健康を守る八か条と、生活習慣については、いろいろな食品をバランスよく食べ、適度な運動・減塩など、食生活の指針を説明され、肩こり体操などからだをほぐす運動を実地に指導されました。

(高嶋清典)

「県政バス教室」による社会見学



で実施致しました。

内容は「食品健康コース」で菱富食品、源のますのすし、富山蒲鉾、石川製麺を見学しました。さすがに県が推奨する立派な食品工場ばかりで、特に感じたのは近代的な設備と作業員の清潔な服装でした。

工場内は常に低温で管理され、作業は概ね午後三時くらい迄で、あとは工場内の徹底した清掃が行われ食中毒対策に万全を期しておられました。

最後に、食品工場の加工の実態を私共の食生活の改善に役立てたらと大変有意義な学習会でした。

(武田清信)

去る
十月二
十六日
「県政
バス教
室」に
よる学
習を地
区社協
と南山
見高齢
者教室
と合同



十一月七日、恒例の「Vもう一人運動」がマーシ園で行われました。園長さんから、マーシ園の現状について説明をお聞きした後、手袋の袋詰め作業と窓ガラス清掃に分かれ活動させて頂きました。

第十二回 ボランティアもう一人運動

私は、窓ガラス清掃に加わりましたが、窓越しに園生の皆さんが不自由な身体で一生懸命に頑張っておられるお姿を拝見し、ガラスを拭く手に思わず力が入りました。一方の手袋の袋詰め作業も、予定をはるかに超える数量をこなすことができました。この活動は、マーシ園にとっても役立つとのことで感謝の見送りをうけ、参加者一同マーシ園をあとにしました。

平成元年から続いているこの運動が、いつまでも続くことを願っています。

(岩崎保子)

第四回 八乙女福祉カレッジ

十一月十六日、町健康保険・南山見高齢者教室・地区社協共催で「健康講座」「交通安全教室」を開催しました。

健康講座では、「薬と身体・禁煙」と題して、井波総合病院薬剤部長の山口裕幸氏のご講演を拝聴。先生は、喫煙はとても有害でガンの発生率が高く、回りの人の健康にも悪影響を及ぼすので是非やめてほしい。特に未青年者の喫煙は、子供の発育を阻害するので、絶対に喫煙をしないよう家庭でも指導して頂きたいと力説された。

交通安全教室では、講演に先立ち、皆で参加者の履物等にビカピカシールを貼った後、井口村駐在所警察官大門俊司氏から最近の交通事故の発生状況について説明を受け、改めて交通事故の恐ろしさを認識するとともに、車の安全運転とビカピカシール貼りの励行を再認識した。

(事務局)

平成12年度 南山見地区社協事業経過

(H12.6.20~12.31.)

年月日	実施事業	場所
12. 7.14.	八乙女福祉カレッジ①(町民大学福祉講座 松居一代氏)	文化センター
8.15.	南山見忠魂碑追悼慰霊祭(会長参列)	谷地内
8.24.	八乙女福祉カレッジ②(講話 高瀬顯正師・中島保健婦)	公民館
9. 8.	ボランティア部会(活動展示パネル作成打ち合わせ)	公民館
9.19.	ボランティア部会(活動展示パネル作成)	公民館
9.25.	交通安全協力(マスコットと事故なし「梨」配布)	南山見農協前
9.29~30.	健康と福祉の祭典(活動発表・式典・表彰・パネル展示)	福祉センター
9.30.	みんなでオリエンテーリング(車椅子体験ほか)	文化センター
10.26.	八乙女福祉カレッジ③(県政バス 食品健康コース)	県内
11. 7.	ボランティアもう一人運動(加工科作業・ガラス窓ふき)	マーシ園
11.12.	南山見地区文化祭(担当—マスコット作り)	公民館
11.16.	八乙女福祉カレッジ④(学習 健康講座・交通安全教室)	公民館
11.21~22.	町社協・地区社協役員合同一泊研修(長野県立科町社協)	県外
11.30.	理事会(今後の事業計画について)	公民館
12. 4.	広報部会(「福祉のかけ橋」第23号発行について)	公民館
12.12.	ミニ託老所世話方研修(節談説教録音テープ聴講)	公民館
12.20.	歳末見舞品配布(80歳以上・75歳以上独居・保育所・マーシ園)	公民館

交通安全マスコット作りに参加して



院瀬見 吉田かずい

四月の或る日、秋の交通安全マスコット作りに誘われ、院瀬見公民館へ集まったところ武田十四子さんが「先日、タバコ屋さんへ行ったら、おばさん」がタバコの空き箱を利用して何か作ってみたらと言われ、紙箱をもらって来た。だから、これを使って皆で交通安全の願いをこめ、マスコットを作ろうよ」と言われ、皆でコッコ作ってみようという事で、取り掛かりました。

先ず、紙で人形(動物)の型を取ることから始めましたが、なかなかうまく出来ず、種々工夫しながら、四月中に何とかネズミとウサギの人形を作りました。

五月からは富山国体民泊関係の仕事で忙しく、漸く九月二十四日に、これらの人形と交通安全の札をリリアンに結び付け「交通安全マスコット」の完成品を仕上げました。皆さんの結集と熱意で完成したその時の喜びはひとしおでした。

そして、翌九月二十五日、喜び勇んで

「マスコット八十個」を持ってJ A 南山見支店前へ行き、井波警察署の協力のもと交通安全協会南山見分会と共同で交通安全運動キャンペーンを展開し、手作りのマスコットと用意された梨(事故なし)をドライバーに手渡し交通安全を呼びかけました。きつとこのマスコット達がドライバーの皆さんの交通安全を見守ってくれている事と信じます。



秋の交通安全運動マスコット作りに続き来春の交通安全運動マスコットを、去る十一月十二日、南山見地区文化祭の集いにおいて、小学生の皆さんと地区のボランティアアグルーの皆さんとで作って頂きました。とても可愛いマスコットをたくさん作って頂きありがとうございます。(事務局)

「健康と福祉の祭典」で受賞

(南山見地区社協関係)

井波町社会福祉協議会長表彰

個人の部

山本幸雄

島和子

団体の部

知る葉グループ(代表 須川ユキエ)

青葉グループ(代表 武田十四子)

井波町老人クラブ連合会長表彰

団体の部

院瀬見地区老人クラブ

(会長 松田 稔)

保健衛生協議会長表彰

個人の部

林 みつ子

今後の予定

一月二〇日(土) 調理実習・会食交流会

二月一〇日(土) 会食交流会

二月一八日(日) 三世代交流会の集い

二月二四日(土) 福祉のまちづくり

「小地域フォーラムいなみ」

於 社会福祉センター

三月 上旬 介護者リフレッシュ

編集後記

二十一世紀の幕開け、この世紀はどのように変わって行くのでしょうか。情報技術が発達し、瞬時にいろんな事が見たり聞いたりできる、便利で平和な世の中に期待しましょう。(狩野幸夫記)

号数	第二三二号
発行	平成十三年一月
所在	富山県井波町川原崎 南山見公民館内
発行者	南山見地区社協

◎ 読んだら綴りましょう